

第 25 号

発行 JA吉田総合病院

広島県安芸高田市吉田町吉田3666
TEL (0826) 42-0636
FAX (0826) 47-0007

JA 吉田総合病院

あおぞら
新春号

青空

■ホームページ <http://www.hirokouren.or.jp/yhindex.htm>

新年のご挨拶



事務長 向井 有司

新年あけましておめでとうございませう。皆様方には健やかに新年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

さて、政権は自民から民主に変わり、本年特に期待している事があります。中山間病院に救済策がとられるのではと：初夢の中で、新聞報道第一面は『政府、地方の疲弊した医療機関救済を厚生労働省に指示、4月の診療報酬改定で大幅引上げ』と？：(夢)。民意を反映した政権交代です。大いに期待しているところでは。

当院の年末までの収支につきましては、▲6900万円という状況です。しかしながら本年の干支、獲物を追う寅のごとく最終コーナーでの巻き返しを狙

い、全職員のさらなる知恵と力を結集し、6年連続黒字達成を念じているところです。厚生連が経営母体である吉田総合病院は県内にある他の3病院とちがい、本院以外に老人保健施設、健康管理センター、休日夜間診療所を付属していることです。中山間地域の医療を守ることが使命とされる厚生連病院が経営危機にあるのは先般、石西厚生連を一例としてみなさんご承知のとおりです。

現在、累積赤字を1億1400万円抱えています。住元病院長のもと14億円近くあった累積損もここ5年間すこしずつではあります。返済し、やっとここまで来た次第です。休日夜間診療所につきましては、赤字覚悟で平成7年より運営してまいりましたが、ここに至りては医師不足に端を発し、経営的に病院本体をゆるがす問題となつてしまつたことは残念でなりません。この問題につきましては、安芸高田医師会が中心となつて、今後の方向性を論議してもらつていられるところでは。医師会長様をはじめ関係各機関の皆様、この場を

かりて厚くお礼申し上げます。厚生連病院の身売り話や、同じ県北の医療を支えている病院が衰退していく姿を横目でみながら、財務基盤がしつかりしていないと明日はわが身かと危機感を感じております。経営改善を具体的に検討し、資源の集中を行い健全経営に努力してまいりたいと思つています。

一方、昨年7月より嵐のようになり巻き起こっている新型インフルの対応では行政の方々、又関係各局、職員の皆様には大変なご苦勞をおかけしております。国策的な一面もあり最前線のスタッフには優先的な措置がされ、その効果もあつてか安芸高田市においては都市部ほどの目立った被害はなかつたように思つています。4年前におきたノロ事件が頭の隅にあり当時、院内では休務者続出又、マスクミ被害も大きかつたことも覚えています。季節型インフルの流行も懸念されるなか、終息への道のりはなかなか見えてきませんが安芸高田地区においては被害を最小限に抑えるため一人一人が基本的なマスク着用、手洗い、うがいなど十分な配慮を行い拡大を防ぐことが重要です。病院としても気をゆるめず出来る限りの対応をしてまいりたいと思つ

ます。

最後に、現在は医療の質を問われる時代となつており、当院は5年前にレベルアップの一環として病院機能評価認定をうけております。本年9月に更新のための再審査をうけることとしており、引き続き取り組みを行つていき、地域の皆様にかわいがつて頂ける病院として努力してまいりますのでご支援ご協力をお願いいたします。

中山間地域の病院存続は、多くの地域住民の方の支えと全職員の努力にかかつております。以前、全国で病院数は1万を超えておりましたが、先月末で8900と相当数が整理されました。県北の医療機関においても病院同志の生き残りをかけたレースがここ数年続くと思われます。安芸高田市が誕生し50年が経過、当院も市民病院の役割を担うことで、益々その役割が重要視されております。

68年前、この地域に想いをこめて、当院を開設された先人の熱意を受け継ぎ、職員一同、関係機関と手を携え、更に医療・保健・福祉の向上を図る所存でありますので、皆様のご支援ご鞭撻のほど重ねて宜しく申し上げます。

健康管理センターより
お知らせ



JA吉田健康管理センターは平成10年4月、組合員並びに地域住民を対象とした健康診断やその事後指導など疾病の予防対策を総合的に行う施設として、吉田総合病院の中に独立した診療所として開設されました。

主な健診メニューは、1日ドック・入院ドック・協会けんぽ健診・生活習慣病予防健診・労働安全衛生法に基づいた定期健診・脳ドック・特定健診・女性健診です。また、オプショナルとして、骨粗鬆症・マンモグラフィ・前立腺がん検診と多彩な内容を用意しております。

開設当初は3600人程度の健診受診者が、今では6700人を超える(ほど)となり、利用者数は年々上昇傾向にあります。また、昨年からは特定健診(メタボ健診)・特定保健指導と新たな健診なども加わり、午前中だけでは対応不可能で、胃の検査のない簡易

な健診については、月・木曜日の午後にも健診を実施し、より多くの方にご利用いただけるよう努めております。

健診の目的は、生活習慣病を予防するために自らの生活を見直す機会にしてください。疾病の早期発見にあります。

現在把握できている昨年度のがん発見者数は32名で、特に胃がん・前立腺がんが多く発見されています。また、死因の約6割を占めるといわれるがん・心臓病・脳血管疾患は、生活習慣が大きく関与する病気です。保健師は、日々各受診者の健診データに基づいた生活指導を行い、健康寿命を延ばしていただけるようアドバイスしております。

『心援します あなたの健康をスローガンとして、より多くの方から満足していただける健康管理センターを目指して、スタッフ一同頑張っておりますので、今後ともよろしく願っています。』

新任
医師紹介



外科医師
山下 正博
(やました まさひろ)

8月より、外科に勤務させて頂いております。県北部を管轄した地域医療にも貢献したいと思っております。宜しくお願い致します。

非常通報装置の設置について

JA吉田総合病院では、院内で不法事件が発生した場合の早期解決と職員の方の安全対策として、県警通信指令室に直接事件の状況を通報することが出来る「緊急通報システム」を導入し、昨年10月26日からその運用を開始しました。

この「緊急通報システム」ですが、簡単に説明しますと、院内に設置された「非常通報ボタン」を押すと同時に、「JA吉田総合病院で事件発生」の通報が県警通信指令室に入るシステムです。

たとえば深夜、暴漢が突然診察室に入ってきて、看護師さんに刃物を突きつけて「傷の手当をしろ」と脅迫したとします。このような時、刃物を突きつけられた看護師さんは大声を出して助けを求めることができないし、その場から逃げだすこともできないと思います。こんな時に活用していただきたいのが「非常通報ボタン」で、犯人の様子を見ながら、「非常通報ボタン」をこっそりと押していただきたいのです。

「非常通報ボタン」を押した後、犯人の要求に一切逆らうことなく、犯人の言うとおりに行動し、身体に危害を加えられないようにしていただきたいのです。

「非常通報ボタン」の確認をした県警通信指令室は安否高

田警察署やその周辺の警察署に「JA吉田総合病院で事件が発生した」旨の指令を出し、警察官が直ちにJA吉田総合病院に駆けつけてくれます。

警察官の到着が早ければ早いほど被害が少なくて済みますし、犯人の逮捕も容易となります。

この「緊急通報システム」を設置するには色んな条件が必要となりますが、当JA吉田総合病院では、一昨年の事件を教訓にして、色々な防犯態勢を確立し、防犯システムを設置した結果、その要件をクリアすることができ、この「緊急通報システム」を導入することができました。

こうしたシステムは、使わないうちに越したことはありませんが、九州で発生した「病院内における暴力団組員による入院患者さんの殺人事件」など、万が一にも、こうした不法事件が病院内で発生すれば、患者さんは勿論のこと、先生や看護師さんなど、職員の皆さんが被害に巻き込まれることは間違いないと思っております。

当JA吉田総合病院の住元病院長は、こうした病院内での不法事件を完全に防ぐためにも、この「緊急通報システム」を導入することは必要である、と判断し、今回広島県内で初めてとなる、この「緊急通報システム」を導入したのであります。

JA吉田総合病院は「全国で一番の安全安心な病院である」「安心して治療を受けられる病院である」をモットーに、これから住元病院院長以下、職員一同で取り組んでいきます。

(総務課危機管理室 上嶋亜美)



接遇研修を終えて

電話はコミュニケーションのツールであり、また業務を遂行するうえで仕事の一部でもある。電話対応の善し悪しが外部では病院の評価につながり、また人間関係や仕事の効率に影響を及ぼすといえる。しかし、普段それを意識して対応していない現状もある。

実際電話対応で不快な思いをした経験もある。また、他人の対応を側で聞いて嫌な感情を抱いたこともあるが、さて自分は好感のもてる電話対応ができているかと問われても自信はない。

研修を終え、顔や態度が見えない分、相手への気配り・心配りが好印象につながり大切であるという当たり前のことがとても良く理解できた。忙しくて、いらいらしても電話に出る前は一呼吸おいて、明るく声色を高くして、口元をキュッとそしてハキハキと対応する…そんな声優になることも必要かなと思っただ。

電話対応でのマナーやルールを遵守することが、社会人・職業人としての責任であることも再認識できた。接遇研修は普段の行動を振り返る場であり、意識をチェンジさせる機会になった。

(人工透析センター)
三橋 真由美

院内学会開催

9月25日に第28回院内学会が開催されました。この度の発表は、NST委員会から言語聴覚士、耳鼻科医師、放射線技師と協力し、攻めの『NST』としての頑張りの紹介。看護科からより良い病院や看護を目指して取り組まれている興味深い発表が3題。また、検査から病理検査の紹介。地域医療連携室から居宅介護支援事業所の紹介と、とてもバラエティにとんだ発表となりました。

今回の発表はいずれも分かりやすく、他部門の頑張りや活動内容等の理解が深まった事と思います。今後院内学会の活性化に向け、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

(地域医療連携室) 丸岡 真由美



病院祭開催

第12回病院祭が開催されました。10月3日朝、前日の大雨も嘘のように快晴を予感させる白色の霧が、病院を包んでいました。

青空が広がってきた午前10時、住元病院長の開会の挨拶を機に、病院祭の始まりです。威勢のいい桶太鼓の音が響き渡ります。その後、ホールではバルーンアートが催されました。風船のねじる音はじける音がしていましたが、皆様うまく作れましたが、女関を出ると、10月とは思えない陽気です。

うーん、いい匂い。特設テントの下、屋台がずらりと並びます。もうお昼時、空いたお腹にはたまりません。どれどれ、イカ焼き、フライドポテト、焼そば、うどん、コロッケ等々。えっ、「つまみ食いしないので写真撮れ。」って…失礼しました。ところで、全品お直し上げられた方、おられますか？

さて、午後は琉球民謡三線の演奏会です。綺麗な琉球衣装での舞踊もあり、会場の皆様の拍手も弾みました。

全ての催しの詳細をご報告できないのが残念です。できる限りの写真に替えさせていただきます。参加者の皆様、近隣、遠路よりお越しいただき、ありがとうございました。いつもと違う雰囲気の日、病院祭。もう12回目の開催となりましたが、お楽しみいただけましたでしょうか。お陰さまで今回も大盛況に終わり、実行委員一同喜んでおります。又、皆様



はマスクを着用していただき、参加をさせていただきました。快く協力いただき、大変ありがとうございました。来年の病院祭でまたお会いしましょう。
(病院祭実行委員 中村 晃司)



厚生労働省

新型インフルエンザの感染拡大は一人ひとりが防ぐ!

感染を予防するために こまめな手洗い・うがいを徹底しましょう

感染をひろげないために 咳エチケットを守ってください

感染をひろげないために かったあとは外出自粛をしてください

重症化リスクの高い方は早期受診!

- 持病のある方々の中には、治療の経過や管理の状況により、インフルエンザに感染すると重症化するリスクが高いと判断される方がいます。(※下野期)
- 季節(こまめな手洗いとうがい、人ごみを避けること)を心がけてください。
- また発熱の高熱や、のどの痛みなどの症状が出たら、早期に受診してください。

※インフルエンザに感染するリスクが高いと判断される方
 ・高齢者(75歳以上) ・高齢者(65歳以上) ・慢性疾患のある方
 ・妊娠中 ・高齢者(75歳以上) ・高齢者(65歳以上) ・慢性疾患のある方

厚生労働省インフルエンザ相談窓口 TEL: 03-3501-9031 FAX: 03-3501-9044 受付時間 平日10:00~18:00
 ◆インフルエンザに関する詳しい情報は厚生労働省ホームページ http://www.ehivf.jp/jp/bunya/suraku/kakaku-kansensho/04/index.html

当院の基本理念

- ① 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
- ② 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
- ③ 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

当院の基本方針

- ① やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
- ② 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
- ③ 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
- ④ 努力と協調で健全経営に努め、明るい職場をつくります。
- ⑤ 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規範を遵守します。

吉田総合病院 診療案内

受付時間 月曜～金曜 8:30～11:30

2009年12月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	広 大 医 師	木 阪 智 彦	木 阪 智 彦	黒 川(隔 週)	黒 川 純 一
	2 診	高 場 敦 久	鼻 岡 新 治	川 本 雅 英	高 場 敦 久	川 本 雅 英
	3 診	橋 本 和 憲	漆 谷 成 悟	鼻 岡 新 治	漆 谷 成 悟	広 大 医 師
	4 診			宮 田 康 史	宮 田 康 史	橋 本 和 憲
	新患外来	宮 田 康 史	高 場 敦 久		川 本 雅 英	鼻 岡 新 治
	腹部エコー	鼻 岡 新 治	宮 田 康 史	高 場 敦 久	橋 本 和 憲	漆 谷 成 悟
	胃内視鏡	川 本 雅 英	川 本 雅 英	漆 谷 成 悟	鼻 岡 新 治	高 場 敦 久
※木曜日の循環器は (月2回) (予定)						
* 小児科	午前外来受付	広 大 医 師	広 大 医 師	広 大 医 師	広 大 医 師	広 大 医 師
	午後外来受付 (14:00～15:30) ★ 予約制	慢性疾患外来	乳 幼 児 健 診 (～15:00) B C G ・ 予 防 接 種 (15:00～)	慢性疾患外来	慢性疾患外来	予 防 接 種 (B C G以外)
午後：一般外来 (広大医師) ※必ず事前に電話連絡をお願いします。						
外科	1 診	住 元 一 夫	繁 田 直 史	児 玉 真 也	丹 治 英 裕	住 元 一 夫
	2 診	丹 治 英 裕	児 玉 真 也	満 田 裕	繁 田 直 史	繁 田 直 史
	3 診	満 田 裕	山 下 正 博	澤 田 紘 幸	満 田 裕	児 玉 真 也
	4 診	澤 田 紘 幸				山 下 正 博
	肛門外来	受付時間：月～金 8:30～11:30 (児玉)				
外脳神経科	1 診	沖 井 則 文	沖 井 則 文	沖 井 則 文	沖 井 則 文	沖 井 則 文
※神経内科 第2・第4月曜日：伊藤 聖						
整形外科	1 診	竹 本 正 瑞	定 地 茂 雄	竹 本 正 瑞	杉 田 直 樹	竹 本 正 瑞
	2 診	定 地 茂 雄	杉 田 直 樹	杉 田 直 樹	本 山 満	定 地 茂 雄
	3 診	古 田 太 輔	本 山 満	本 山 ・ 古 田		古 田 太 輔
眼科	1 診	調 枝 寛 治		北 野 徳 子		北 野 徳 子
※午前中のみ受付 (10:30まで)						
* 耳鼻咽喉科	1 診	中 尾 芳 雄	中 尾 芳 雄	中 尾 芳 雄	中 尾 芳 雄	中 尾 芳 雄
	2 診	非 常 勤 医 師	非 常 勤 医 師	非 常 勤 医 師		非 常 勤 医 師
	午 後	再 診 予 約 外 来 (1診のみ)	検 査 ・ 手 術	一 般 外 来 (1診のみ)	再 診 予 約 外 来 (1診のみ)	手 術
※午前外来受付(月・火・水・木)11:30まで(金)11:00まで ※午後外来受付(水曜日のみ)14:00～15:30まで						
* 婦人科	1 診	岩 沖 靖 久	岩 沖 靖 久	岩 沖 靖 久	岩 沖 靖 久	岩 沖 靖 久
	午 後			一 般 外 来		
※午後外来受付(水曜日のみ)13:30～15:30						
* 泌尿器科	1 診	田 中 学	田 中 学	田 中 学	田 中 学	田 中 学
	午 後					一 般 外 来
	※午後外来受付(金曜日のみ)14:00～15:30					
神経科神	1 診	萬 谷 昭 夫 (初 診 再 診)	萬 谷 昭 夫 (再 診)	萬 谷 昭 夫 (初 診 再 診)	樽 本 尚 文 (初 診 再 診)	樽 本 尚 文 (初 診 再 診)
	2 診	樽 本 尚 文 (再 診)	富 田 洋 平 (初 診 再 診)	富 田 洋 平 (再 診)		富 田 洋 平 (再 診)
※再診の方は予約をお取りください。						
* 皮膚科	1 診	文 明 徳	文 明 徳	文 明 徳	文 明 徳	文 明 徳
	午 後	一 般 外 来	手 術	一 般 外 来	一 般 外 来	手 術
	午後外来受付(月・水・木)14:00～15:30					
* 麻酔科	ペインクリニック	田 村 秀 樹		田 村 秀 樹		田 村 秀 樹
	術前診察	田 村 秀 樹		田 村 秀 樹		田 村 秀 樹

* 印は午後外来診察あり。